

授業の目的に応じた小集団学習！

今年度も学校訪問を通して多くの授業を参観させていただきました。それまでの計画や準備等、本当にありがとうございました。授業には、子どもの学習意欲を引き出したり、学習内容を定着させたりするために、いろいろな工夫がありました。その中でも目を惹いたのは、教科や領域における指導形態（一斉指導・少人数指導・TT指導等）です。特に、実態に応じた小集団（グループ）での話し合いや活動を通して子どもたちがいきいきとした笑顔を見せ、授業の活性化につながっていたことが印象的でした。ペアやグループの小集団学習を学習内容や目的に留意して効果的に取り入れ、よりよい授業づくりに今後も取り組んでいってほしいと思います。

小集団学習の意義

- ①子ども中心の自発的学習が期待できる。
- ②学習が遅れがちな、消極的な子どもにも話し合いや作業への参加が期待できる。
- ③子ども同士の相互理解や人間関係の深まりが期待できる。
- ④自分自身の考えを深めたり、広めたりすることが期待できる。
- ⑤学習の仕方が身につくことが期待できる。

「授業改善」ドットコム授業を愛する福岡県教育研究協会より



グループでの観察・実験

シリーズ！学力向上のための手びき【振り返る】編

1単位時間の学習内容をきちんと振り返ることが知識・技能等の確かな習得につながります。授業の中に振り返る時間や場を設定し、子ども自身が自己評価できるように配慮することが大切です。学んだことをまとめたり、練習問題を解いたりすることで授業の達成感を味わうことになります。ぜひ、1単位時間の学習の中に位置づけて取り組むようにしましょう。

<p>①めあてに戻って自分の言葉でまとめる</p>	<p>① 必ず、めあてに戻って、1単位時間の振り返りをさせましょう。 ② ノートに自分の言葉でまとめさせるようにしましょう。 ③ 学習方法のまとめも大切にしましょう。</p>	<p>「時間が足りない」といって、振り返りの活動を省略していませんか？</p>
<p>②自己評価をする</p>	<p>★ この1時間で何ができるようになったかを認識させることで満足感や達成感を味わわせることができ、学習意欲の向上につながります。</p>	<p>子どもが、「前の自分と比べてここまでできるようになった。」と感じることができるようになることが大切です。</p>

学習理解を助けるノートづくり

ノートは、前時の学習内容を確認したり、これまでの学習の流れを短時間のうちに把握したりして、復習をすることが可能です。また、ノートに書く作業を通して自分の思考過程を整理し、考える内容を明確にすることができます。

学習の理解を助けるノートづくりのために、以下の点に心がけて指導をしましょう。

- 授業の流れが分かるレイアウト
 - 視覚的な工夫（タイトル・めあて・まとめ・文字の色分け記号・付箋紙・矢印・番号・ラインの使い方など）
 - 資料やワークシート等の貼付
- ※（学年が上がれば）教師の説明を聞きながら書きとめていくことも大切なポイントです！

定期的に子どものノートを見て評価をしたり、紹介をしたりすることで、ノートに書く力を高めていきましょう。

構造的に整理されたノート例（国語「サーカスのライオン」）